



～ボランティアのまち、うるおいのまち～

# 第32回くまもと市民ボランティア週間

2011. 11. 12(土) ～20(日)

11/12(土) 14:00～

DVD上映

「奇跡体験アンビリーバボー」

講演&コンサート

「生きている奇跡」～高次脳機能障碍と向き合いながら～

講師 一ノ瀬純二さん コンサート 一ノ瀬たけしさん

コーラス 熊本少年少女合唱団

場所 スタジオライフ  
上通り同仁堂4階  
定員 200名  
入場無料

主催 第32回くまもと市民ボランティア週間実行委員会  
事務局 熊本市社会福祉協議会 市民活動・ボランティアセンター

赤い羽根共同募金助成事業

# ハートフルステージ プログラム

**14:00 開会**

**挨拶**

くまもと市民ボランティア週間 潮谷 愛一 実行委員長  
熊本市社会福祉協議会 新立 順子 会長

**14:15 DVD上映** 「奇跡体験アンビリバボー」

**14:40 講演** 「生きている奇跡」  
～高次脳機能障害と向き合いながら～

**コンサート**

講師 一ノ瀬 純二さん 歌手 一ノ瀬たけしさん

**15:30 コーラス**

熊本少年少女合唱団

**15:50 閉会**

## 出演者プロフィール

一ノ瀬 たけしさん (本名：一ノ瀬 健)

生年月日 昭和52年9月22日(34歳) おとめ座

小学校・中学校・高校とサッカー大好き少年でした。そんなたけしさんが18歳の平成8年、突然の心臓発作で倒れ12分間の心臓停止・瞳孔拡散・チアノーゼ状態から奇跡的に一命を取り留めましたが、脳に重い障害が残りました。それが、高次脳機能障害です。いろんな障害事例がありますが、たけしさんの場合記憶障害・遂行機能障害などいくつもの障害が残りました。『現代の医学では治らない』と言われ続けながらも16年の歳月が経ちずいぶん回復してきました。

そのたけしさんの夢は歌手になることです。歌うことが一番の喜びであり、リハビリになっているようです。リズム・メロディー・歌詞を同時に表現する事すら未だ充分ではなく、ひたすらに純真さ・真心・素朴さだけかもしれませんが、何かを感じていただければ幸いです。

一ノ瀬 純二さん

1968年 中学2年時に父親が他界

1973年 高校卒業と同時に家業「一ノ瀬鮮魚店」の後継者として従事

1983年 鹿本ショッピングセンター「RIO」に出店、理事として共同組合の運営に参画、その後、専務・理事長を歴任、事業も順調に推移。

2005年 事情により「一ノ瀬鮮魚店」を廃業、115年の営業に幕を引く  
現在は、【高次脳機能障害ぷらむ熊本】の家族会代表として活動中

熊本少年少女合唱団

伴奏 清田浩子さん

昭和35年4月結成。小学1年～高校3年までの少年少女が合唱の活動を通じて、豊かな情操を育み健全育成と音楽文化の向上に寄与するため、青少年コンサートや熊本県少年少女合唱祭などの各種イベント等に参加し多団体との共演など多彩に活躍。定期演奏会も結成以来毎年開催され、本年は52回目を迎える。